

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/02/13号

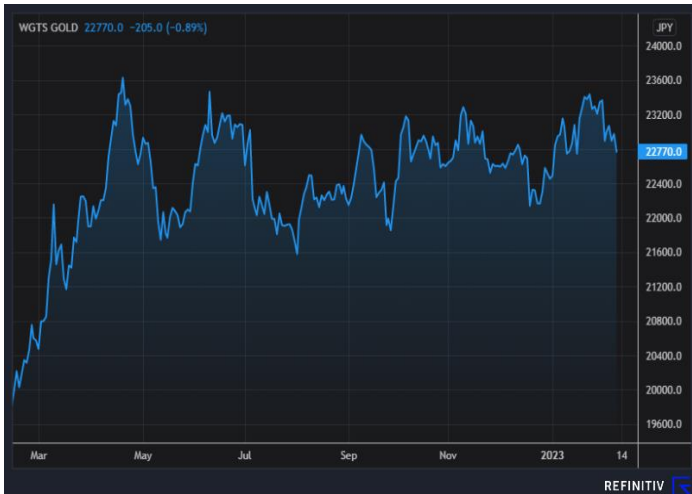
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FRBタカ派傾向にドル高金利高ゴールド安

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



1月のラリーの後、3週間連続での下げとなりました。この1月の上げは過去10年で最高の上げだっただけに、その反動の売りもまた大きくなったということかもしれません。前週の雇用統計が517000人増加という市場予想の3倍近いよい数字が、今年中の金利下げを期待していた市場にさらに冷や水を浴びせたことは間違いありません。パウエル議長はこの雇用統計後の会見で、経済の過熱に対するサプライズを認め、予定していた以上の利上げを余儀なくされる恐れを語り、それがドルそして金利の上昇をさらに加速させました。FOMC後注目された「ディスインフレーション」は確かに始まったが、もし今後の経済指標が強いものなればさらに金利を上げざるを得ないというタカ派的な発言は、ゴールドにとっては全く向かい風の状況と解釈され、前週は1800ドル台半ばでの動きとなり、先週のレポートでもう少し下げ（ロングからの売り）があるかもしれませんと書きましたが、さらなる下げとはなりませんでしたが、相場の頭は大きく押さえつけられることになりました。この流れを大きく変えるとすれば今週火曜日のCPIになります。市場予想では12月の6.5%から、1月のCPIは6.2%へと下落となっています。ディスインフレーションの流れは続くとみられており、この場合はゴールドの価格は1800-1850ドルというレベルで支えられ、CPIが6.2%以上に下げることがあれば、ゴールドは再び上昇するでしょう。11月からの大きな上昇の裏側にあったのが史上最大の1136トンという中央銀行の買いであり、世界の多極化の動きを考えるとその流れは今年も続くでしょう。だとすればこの下げは中央銀行にとって、そして地政学的緊張に同様に反応してこれまでなかったほどの現物投資に傾いている欧米の個人投資家にとっても買い場となっているのではないのでしょうか。

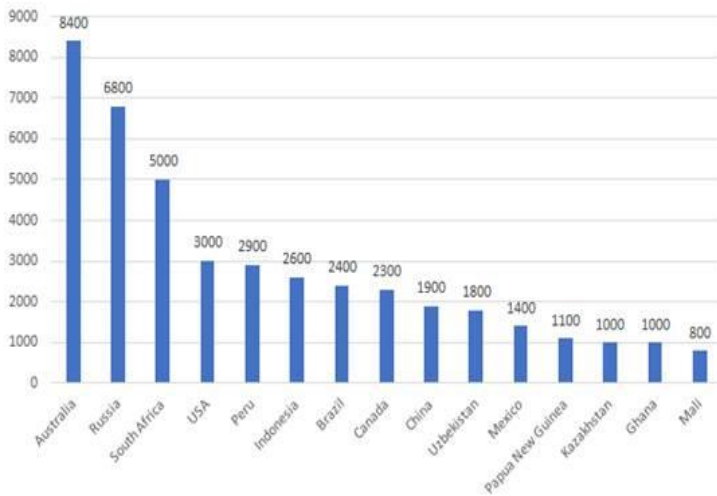
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

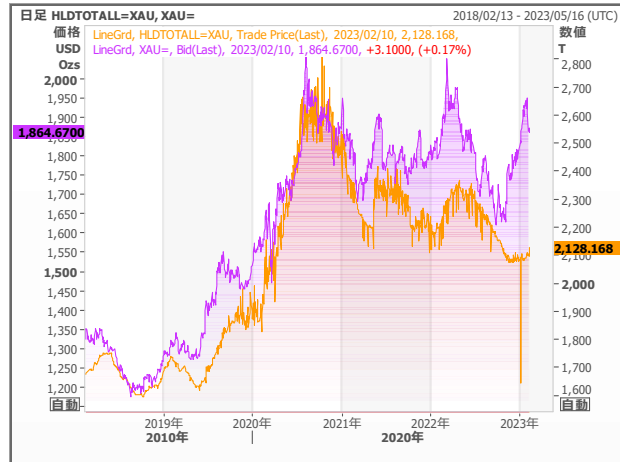
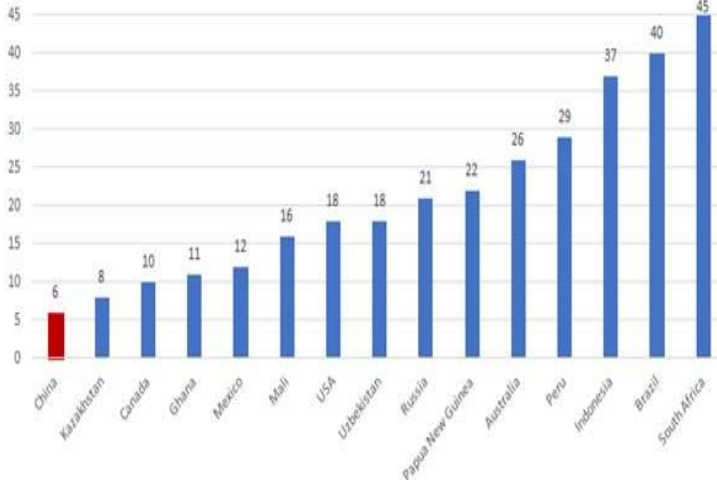
「ゴールドの埋蔵量とR/P」

USGS（米国地質調査所）の発表による、ゴールドの埋蔵量をみるとゴールドの埋蔵量のトップ3はオーストラリア8400トン、ロシア6800トン、南ア5000トン。そしてこの埋蔵量と現在の生産高の割合から計算される、R/P（Reserve to production ratio：埋蔵量を掘り尽くす年数）を計算すると中国のゴールド埋蔵量は現在のスピードで生産が続くとあと6年で掘り尽くすということになります。ただ掘られた分はすべて地上に残ります。地中から地上に移ったと考えるべきでしょう。

ゴールド埋蔵量



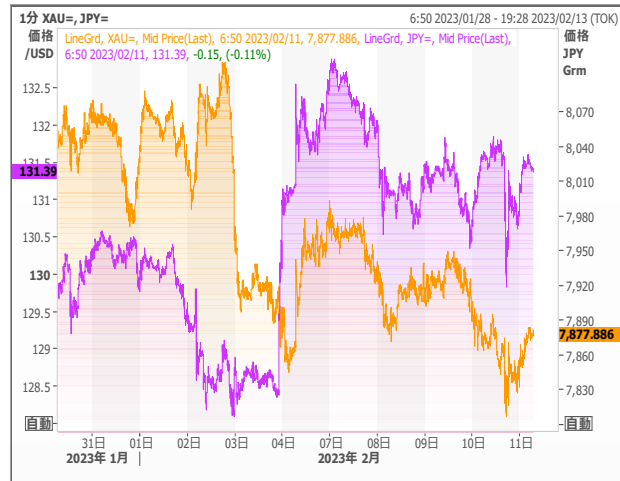
ゴールド可能掘削年数



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

